

市 財 政 の 状 況

1 決算の概要

令和3年度三木市一般会計決算規模

歳入総額 375億 755万3千円（前年度415億5,533万4千円）

歳出総額 365億 1,427万5千円（前年度412億7,939万1千円）

決算規模は、前年度に比べ、歳入で40億4,778万1千円（△9.7%）、歳出で47億6,511万6千円（△11.5%）それぞれ大きく減額した。これは、令和2年度に国民1人10万円を給付した特別定額給付金交付事業（決算額77億454万1千円）の減が大きな要因となっている。

歳入を主な項目で前年度と比較すると、市税は、法人市民税が6,855万7千円（+9.4%）、市たばこ税は3,514万4千円（+7.1%）増加した。一方で、個人市民税がコロナ禍の影響等を受け8,795万5千円（△2.4%）、新型コロナ特例軽減等の影響で固定資産税が7,520万7千円（△1.4%）それぞれ減少し、市税全体では5,238万8千円（△0.5%）減少した。

地方消費税交付金は、令和元年10月に税率が10%に引き上げられて以降、コロナ禍においても堅調に交付額は伸びており1億3,730万9千円（+8.5%）増加した。

ゴルフ場利用税交付金は、市内ゴルフ場の利用客の増加により、これまでの減少傾向から4,087万7千円（+7.7%）の増加に転じた。

地方特例交付金は、令和3年度の新型コロナ特例軽減による固定資産税の減収分を補てんするために交付された、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金3億4,676万5千円が皆増となり、地方特例交付金全体では3億3,896万2千円（+391.7%）増加した。

地方交付税は、普通交付税において、当初算定額として示された47億3,943万5千円に、後年度の臨時財政対策債の償還に充てるために前倒しで交付された償還財源分を含む5億4,647万8千円が追加で示されたことから8億5,307万9千円（+19.2%）の増加となり、特別交付税とあわせた交付税全体では8億7,289万2千円（+16.8%）増加した。

分担金及び負担金は、県立総合射撃場（仮称）の周辺整備に係る県負担金1億円を受け入れたことなどにより9,348万2千円（+227.5%）増加した。

国庫支出金は、令和3年度は、子育て世帯への臨時特別給付金事業費補助金（市事業名：未来応援給付金）10億3,000万円や住民税非課税世帯への臨時特別給付金交付補助金7億4,515万5千円などが新たに交付された一方、令和2年度に交付された特別定額給付金交付補助金77億454万円が減少したことなどから、国庫支出金全体では55億6,222万9千円（△42.1%）減少した。

繰入金金は、ふるさと納税寄附金を活用するため、こころのふるさと三木応援基金を繰り入れたほか、令和2年度に積み立てた寄附金を活用して学校施設を整備するため、公共施設整備基金を取り崩した。一方、平成30年度以来、3年ぶりに収支不足を補うための財政基金の取り崩しは行わなかったことから、繰入金金全体では7億4,189万3千円（△81.8%）減少した。

市債は、令和2年度に消防指令システムの整備が完了したことから消防債が2億2,830万

円の減少となったほか、学校施設の整備に係る教育債が1億5,970万円減少した。さらに、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響による市税等の減収への対応として発行した減収補填債1億3,440万円及び猶予特例債1億6,000万円が皆減となった。一方、道路や橋梁の整備等に係る土木債が2億980万円増加したほか、臨時財政対策債が5億730万円、過去に長期で借り入れた市債の借換債が2億3,652万8千円増加し、全体で3億1,292万8千円（+9.2%）増加した。

次に、歳出を性質別に増減の大きいもので前年度と比較すると、補助費は、令和2年度に実施した特別定額給付金の減などにより74億6,301万2千円（△55.2%）減少した。

扶助費は、子育て世帯に児童1人当たり5万円を給付した未来応援給付金や非課税世帯に1世帯当たり10万円を給付した臨時特別給付金の実施などにより11億3,947万4千円（+16.5%）増加した。

公債費は、臨時財政対策債などの償還の増加に加え、令和2年度に発行した猶予特例債1億6,000万円の償還や過去に長期で借り入れた市債の借り換えが前年度より2億3,652万8千円増加したことなどにより、6億135万2千円（+15.9%）増加した。

積立金は、ふるさと納税寄附金の増加や普通交付税のうち、後年度の臨時財政対策債の償還財源として前倒しで交付された4億621万円を積み立てたことなどで5億5,404万2千円（+185.0%）増加した。

物件費は、小・中学校へのタブレット端末の整備が完了したことで3億6,185万円減少した一方、新型コロナウイルスワクチンの接種に係る費用5億8,759万円が増加したことなどにより2億1,377万4千円（+4.2%）増加した。

繰出金は、国民健康保険特別会計に対し、同特別会計の令和3年度末までの累積赤字を解消するため、累積赤字額の2分の1に相当する1億8,935万2千円を一般会計負担分として繰り出したことなどにより、1億9,193万6千円（+8.8%）増加した。

投資出資及び貸付金は、国民健康保険特別会計の令和3年度末までの累積赤字のうち、同特別会計負担分である累積赤字額の2分の1に相当する1億8,935万2千円を同特別会計に貸し付けたことなどにより、1億8,793万5千円（+30.6%）増加した。

また、歳出を目的別に増減の大きいもので前年度と比較すると、総務費は71億2,181万4千円（△62.6%）、教育費は6億1,759万1千円（△16.6%）、商工費は3億2,829万2千円（△19.9%）、消防費は3億1,993万7千円（△24.5%）それぞれ減少した。一方、民生費は22億4,183万7千円（+18.3%）、衛生費は7億3,262万4千円（+34.6%）、公債費は6億135万2千円（+15.9%）、土木費は2億5,806万1千円（+12.5%）増加した。

この結果、一般会計の歳入歳出差引額は9億9,327万8千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源5,580万9千円を差し引いた実質収支額は9億3,746万9千円の黒字となった。

一般会計に属する基金は、前年度繰越金の一部やふるさと納税寄附金及び後年度の臨時財政対策債の償還に充てるために前倒しで交付された普通交付税など8億5,346万4千円を積み立てる一方、公共施設整備基金及びこころのふるさと三木応援基金を合わせて1億6,427万3千円取り崩したため、出納整理期間終了後の現在高は60億5,118万3千円となった。

一般会計の市債は、29億9,670万円の発行に対し、34億3,426万4千円の元金を償還したため、残高は4億3,756万4千円減少し、年度末の現在高は377億694万9千円となった。

令和3年度決算が令和2年度決算に比べて収支が大きく改善したのは、普通交付税及び臨時財政対策債が、コロナ禍において市税や地方消費税交付金などが大幅に減少することを見込んで算定されたために大幅に増加したことに加え、大幅に減少すると見込んでいた市税は微減に留まり、その他の地方特例交付金なども令和2年度より増加したことで一般財源収入が大幅に増加したという、コロナ禍における令和3年度の特異な要因によるものである。

なお、普通交付税及び臨時財政対策債については、令和3年度に過大な算定となった額の一部が令和4年度以降の3年間で精算される仕組みとなっており、令和4年度以降の普通交付税及び臨時財政対策債は減少が見込まれる。

特別会計では、全体で歳入総額183億2,750万8千円、歳出総額182億4,773万5千円、歳入歳出差引額は7,977万3千円となった。

企業会計の収益的収支については、水道事業会計において、収益面では令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として実施した半年間の水道料金の減免により、給水収益が大きく減少したが、令和3年度は減免を行わなかったことから、収益全体で4億3,288万円増加した。また、費用面でも、令和2年度は県企業庁による減免により受水費が大きく減少したが、令和3年度は減免が無かったことから、費用全体では1億5,495万9千円増加し、当年度純損益は2億32万9千円の黒字を確保した。

また、下水道事業会計においては、収益面では人口減少などにより下水道使用料が減少したことに加え、一般会計からの繰入金も減少したため収益全体で6,759万3千円減少した。費用面では支払利息が減少したが、資産減耗費などが増加したため費用全体では1,354万2千円増加し、当年度純損益は1億2,333万円の黒字となった。

一方、企業会計の資本的収支については、水道事業会計及び下水道事業会計ともに、支出額に対し収入額が不足したため、損益勘定留保資金等で補填した。

なお、地方公共団体の財政の健全化に関する法律による財政健全化指標については、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字額が発生していないため非該当であり、また、実質公債費比率は4.6%（3か年平均）、将来負担比率は35.4%といずれも早期健全化基準を下回った。

資金不足比率については、水道事業会計、下水道事業会計のいずれの会計においても資金不足額が発生していないため非該当となった。

(1) 一般会計

(単位：千円)

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------------------|------------|------------|------------|
| A 歳 入 総 額 | 32,730,069 | 41,555,334 | 37,507,553 |
| B 歳 出 総 額 | 32,588,514 | 41,279,391 | 36,514,275 |
| C 歳入歳出差引額 (A-B) | 141,555 | 275,943 | 993,278 |
| D 翌年度へ繰り越すべき財源 | 118,151 | 185,353 | 55,809 |
| E 実 質 収 支 (C-D) | 23,404 | 90,590 | 937,469 |
| F 単 年 度 収 支 | △27,570 | 67,186 | 846,879 |
| G 積 立 金 | 29,020 | 13,753 | 46,002 |
| H 繰 上 償 還 金 | 0 | 0 | 0 |
| I 積立金取崩し額 | 100,000 | 250,000 | 0 |
| J 実質単年度収支 (F+G+H-I) | △98,550 | △169,061 | 892,881 |

(2) 国民健康保険特別会計

(単位：千円)

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|
| A 歳 入 総 額 | 9,206,437 | 8,956,088 | 9,374,723 |
| B 歳 出 総 額 | 9,403,844 | 9,241,734 | 9,374,723 |
| C 歳入歳出差引額 (A-B) | △197,407 | △285,646 | 0 |
| D 繰越又は支払繰延等 | 0 | 0 | 0 |
| E 実 質 収 支 (C-D) | △197,407 | △285,646 | 0 |
| F 単 年 度 収 支 | △178,817 | △88,239 | 285,646 |
| G 積 立 金 | 0 | 0 | 0 |
| H 積立金取崩し額 | 0 | 0 | 0 |
| I 実質単年度収支 (F+G-H) | △178,817 | △88,239 | 285,646 |
| J 財源補填的な歳入歳出差引額 | 264,310 | 264,158 | 453,131 |
| K 再 差 引 (E-J) | △461,717 | △549,804 | △453,131 |

(3) 介護保険特別会計

(単位：千円)

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|
| A 歳入総額 | 7,197,303 | 7,111,635 | 7,220,582 |
| B 歳出総額 | 7,031,389 | 6,989,551 | 7,171,903 |
| C 歳入歳出差引額 (A-B) | 165,914 | 122,084 | 48,679 |
| D 繰越又は支払繰延等 | 0 | 0 | 0 |
| E 実質収支 (C-D) | 165,914 | 122,084 | 48,679 |
| F 単年度収支 | △124,527 | △43,830 | △73,405 |
| G 積立金 | 293,634 | 167,200 | 130,759 |
| H 積立金取崩し額 | 96,999 | 0 | 0 |
| I 実質単年度収支 (F+G-H) | 72,108 | 123,370 | 57,354 |
| J 財源補填的な歳入歳出差引額 | 0 | 0 | 0 |
| K 再差引 (E-J) | 165,914 | 122,084 | 48,679 |

(4) 後期高齢者医療事業特別会計

(単位：千円)

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| A 歳入総額 | 1,355,995 | 1,419,184 | 1,454,355 |
| B 歳出総額 | 1,328,113 | 1,387,664 | 1,423,265 |
| C 歳入歳出差引額 (A-B) | 27,882 | 31,520 | 31,090 |
| D 繰越又は支払繰延額 | 0 | 0 | 0 |
| E 実質収支 (C-D) | 27,882 | 31,520 | 31,090 |
| F 単年度収支 | △359 | 3,638 | △430 |
| G 実質単年度収支 | △359 | 3,638 | △430 |

(5) 学校給食事業特別会計

(単位：千円)

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------------------------|---------|---------|---------|
| A 歳 入 総 額 | 254,877 | 270,525 | 277,848 |
| B 歳 出 総 額 | 254,725 | 268,933 | 277,844 |
| C 歳 入 歳 出 差 引 額 (A-B) | 152 | 1,592 | 4 |
| D 翌年度へ繰り越すべき財源 | 0 | 0 | 0 |
| E 実 質 収 支 (C-D) | 152 | 1,592 | 4 |
| F 単 年 度 収 支 | △2,465 | 1,440 | △1,588 |
| G 積 立 金 | 2,631 | 165 | 0 |
| H 積 立 金 取 崩 し 額 | 0 | 0 | 4,380 |
| I 実 質 単 年 度 収 支 (F+G-H) | 166 | 1,605 | △5,968 |

(6) 企業会計

(単位：千円)

| 区 分 | | 収 入 総 額 | 支 出 総 額 | 差 引 収 支 額 |
|---------------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 水 道 事 業 会 計 | 収益的収支 | 1,744,879 | 1,544,550 | 200,329 |
| | 資本的収支 | 141,814 | 816,561 | △674,747 |
| 下 水 道 事 業 会 計 | 収益的収支 | 2,406,552 | 2,283,222 | 123,330 |
| | 資本的収支 | 1,666,691 | 2,505,173 | △838,482 |

2 令和3年度一般会計歳入・歳出決算額内訳

(1) 歳入

(単位：千円、%)

| 款 | 決算額 | 左の内訳 | | 構成比 | 対前年度 増減率 |
|----------------|------------|------------|------------|-------|-------------|
| | | 特定財源 | 一般財源 | | |
| 1 市 税 | 11,251,144 | 0 | 11,251,144 | 30.0 | △0.5 |
| 2 地方譲与税 | 265,943 | 0 | 265,943 | 0.7 | 2.0 |
| 3 利子割交付金 | 8,811 | 0 | 8,811 | 0.0 | △20.7 |
| 4 配当割交付金 | 89,001 | 0 | 89,001 | 0.2 | 42.9 |
| 5 株式等譲渡所得割交付金 | 104,915 | 0 | 104,915 | 0.3 | 45.9 |
| 6 法人事業税交付金 | 131,841 | 0 | 131,841 | 0.4 | 109.4 |
| 7 地方消費税交付金 | 1,752,309 | 0 | 1,752,309 | 4.7 | 8.5 |
| 8 ゴルフ場利用税交付金 | 569,598 | 0 | 569,598 | 1.5 | 7.7 |
| 9 環境性能割交付金 | 38,806 | 0 | 38,806 | 0.1 | 26.6 |
| 10 地方特例交付金 | 425,494 | 0 | 425,494 | 1.1 | 391.7 |
| 11 地方交付税 | 6,073,398 | 0 | 6,073,398 | 16.2 | 16.8 |
| 12 交通安全対策特別交付金 | 14,692 | 0 | 14,692 | 0.0 | △3.3 |
| 13 分担金及び負担金 | 134,569 | 134,068 | 501 | 0.4 | 227.5 |
| 14 使用料及び手数料 | 452,815 | 371,223 | 81,592 | 1.2 | 7.6 |
| 15 国庫支出金 | 7,658,217 | 6,977,218 | 680,999 | 20.4 | △42.1 |
| 16 県支出金 | 2,412,116 | 2,384,044 | 28,072 | 6.4 | 4.1 |
| 17 財産収入 | 15,612 | 2,685 | 12,927 | 0.1 | △19.4 |
| 18 寄附金 | 665,742 | 596,883 | 68,859 | 1.8 | 22.7 |
| 19 繰入金 | 164,553 | 164,273 | 280 | 0.4 | △81.8 |
| 20 繰越金 | 275,944 | 173,701 | 102,243 | 0.7 | 94.9 |
| 21 諸収入 | 1,273,433 | 1,160,908 | 112,525 | 3.4 | △0.6 |
| 22 市債 | 3,728,600 | 2,246,200 | 1,482,400 | 10.0 | 9.2 |
| 歳入合計 | 37,507,553 | 14,211,203 | 23,296,350 | 100.0 | △9.7 |

(2) 歳出

ア 性質別内訳

(単位：千円、%)

| 性質別 | 決算額 | 左の内訳 | | 構成比 | 対前年度 増減率 | |
|--------------|------------|------------|------------|---------|-------------|-------|
| | | 特定財源 | 一般財源 | | | |
| 1 人件費 | 6,020,422 | 491,809 | 5,528,613 | 16.5 | 0.5 | |
| 2 物件費 | 5,315,393 | 1,567,296 | 3,748,097 | 14.5 | 4.2 | |
| 3 扶助費 | 8,763,551 | 6,704,929 | 2,058,622 | 24.0 | 26.5 | |
| 4 補助費等 | 5,318,576 | 732,264 | 4,586,312 | 14.6 | △60.7 | |
| 5 維持補修費 | 94,946 | 34,787 | 60,159 | 0.3 | △34.1 | |
| 6 普通建設事業費 | 2,527,819 | 2,135,588 | 392,231 | 6.9 | △4.3 | |
| 内訳 | (1) 補助事業費 | 1,161,855 | 1,118,374 | 43,481 | 3.2 | 30.8 |
| | (2) 単独事業費 | 1,365,964 | 1,017,214 | 348,750 | 3.7 | △22.0 |
| 7 災害復旧事業費 | 63,963 | 57,511 | 6,452 | 0.2 | △24.5 | |
| 8 公債費 | 4,384,125 | 820,375 | 3,563,750 | 12.0 | 15.9 | |
| 9 積立金 | 853,466 | 401,921 | 451,545 | 2.3 | 185.0 | |
| 10 投資出資及び貸付金 | 802,596 | 611,993 | 190,603 | 2.2 | 30.6 | |
| 11 繰出金 | 2,369,418 | 652,730 | 1,716,688 | 6.5 | 8.8 | |
| 歳出合計 | 36,514,275 | 14,211,203 | 22,303,072 | 100.0 | △11.5 | |

イ 目的別内訳

(単位：千円、%)

| 款 | 決算額 | 左の内訳 | | 構成比 | 対前年度 増減率 |
|----------|------------|------------|------------|-------|-------------|
| | | 特定財源 | 一般財源 | | |
| 1 議会費 | 206,955 | 2,100 | 204,855 | 0.6 | △1.7 |
| 2 総務費 | 4,254,082 | 1,208,876 | 3,045,206 | 11.6 | △62.6 |
| 3 民生費 | 14,465,932 | 7,896,083 | 6,569,849 | 39.6 | 18.3 |
| 4 衛生費 | 2,850,732 | 1,290,842 | 1,559,890 | 7.8 | 34.6 |
| 5 労働費 | 133,022 | 105,234 | 27,788 | 0.4 | 11.5 |
| 6 農林業費 | 639,854 | 264,724 | 375,130 | 1.7 | △16.4 |
| 7 商工費 | 1,323,049 | 664,201 | 658,848 | 3.6 | △19.9 |
| 8 土木費 | 2,323,430 | 1,233,069 | 1,090,361 | 6.4 | 12.5 |
| 9 消防費 | 988,582 | 122,330 | 866,252 | 2.7 | △24.5 |
| 10 教育費 | 3,102,661 | 545,858 | 2,556,803 | 8.5 | △16.6 |
| 11 災害復旧費 | 59,197 | 57,511 | 1,686 | 0.2 | △25.3 |
| 12 公債費 | 4,384,125 | 820,375 | 3,563,750 | 12.0 | 15.9 |
| 13 諸支出金 | 1,782,654 | 0 | 1,782,654 | 4.9 | △4.1 |
| 歳出合計 | 36,514,275 | 14,211,203 | 22,303,072 | 100.0 | △11.5 |

3 繰越額等の状況

(単位：千円)

| 区分 | 1 継続費 繰越額 | 2 繰越明許費 繰越額 | 3 事故繰越し 繰越額 | 合計 (1~3) a | 未収入 特定財源 b | b の内訳 | | | 翌年度に繰り 越すべき財源 a - b |
|--------------------|-----------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|---------|---------|---------|---------------------------|
| | | | | | | 国庫支出金 | 地方債 | その他 | |
| 1 普通建設事業費 | | 961,726 | | 961,726 | 927,420 | 292,458 | 443,100 | 191,862 | 34,306 |
| (1) 補助事業費 | | 690,545 | | 690,545 | 675,067 | 292,458 | 345,300 | 37,309 | 15,478 |
| (2) 単独事業費 | | 271,181 | | 271,181 | 252,353 | | 97,800 | 154,553 | 18,828 |
| 2 災害復旧事業費 | | 118,106 | | 118,106 | 117,600 | | 10,300 | 107,300 | 506 |
| (1) 補助事業費 | | 112,000 | | 112,000 | 111,500 | | 4,200 | 107,300 | 500 |
| (2) 単独事業費 | | 6,106 | | 6,106 | 6,100 | | 6,100 | | 6 |
| 3 その他の他 | | 182,813 | 8,917 | 191,730 | 170,733 | 164,560 | 900 | 5,273 | 20,997 |
| 合計 (1~3) A | | 1,262,645 | 8,917 | 1,271,562 | 1,215,753 | 457,018 | 454,300 | 304,435 | 55,809 |
| 未収入特定財源 B | | 1,215,753 | | 1,215,753 | | | | | |
| 翌年度に繰り越すべき財源 A - B | | 46,892 | 8,917 | 55,809 | | | | | |

4 公営企業（法適）等に対する繰出し等の状況

(単位：千円)

| 資金別 会計別 | 繰出し | | | | | | | | | | 繰入 | | | 合計 (1~3) (1~3) | |
|------------|----------|----------|----------|----------|------------------|-----------------|----------------|----------------|------------------|-------------------|----------------|-----------------|----------------|----------------------|----------------|
| | 繰出 | | | | Aの内訳 | | | | | | 繰入金 | | | | |
| | 1 負担金 | 2 補助金 | 3 出資金 | 4 貸付金 | 合計 (1~4) A | 1 運転資金 繰出 | 2 事務費 繰出 | 3 建設費 繰出 | 4 公債費 財源繰出 | 5 赤字補填 財源繰出 | 6 その他 繰出 | 1 貸付金 元取入 | 2 借入金 繰入 | | 3 その他 繰入 |
| 公営企業会計等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 水道事業 | 1,066 | | | | 1,066 | | | 1,066 | | | | | | | |
| (2) 下水道事業 | 45,382 | 848,618 | | | 894,000 | | 21,118 | 863,809 | 9,073 | | | | | | |
| 計 | 46,448 | 848,618 | | | 895,066 | | 21,118 | 863,809 | 9,073 | | | | | | |

※ 農業共済事業特別会計は令和元年度で廃止

5 公営企業（法非適）等に対する繰出し等の状況

(単位：千円)

| 資金別 会計別 | 繰出し | | | | | | 繰入 | | | 合計 (1~6) (1~2) |
|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|-----------|----------------------|
| | 繰出 | | | 繰入金 | | | | | | |
| | 1 運転 繰 | 2 事務 繰 | 3 建設 繰 | 4 公債 繰 | 5 赤字 繰 | 6 その他 繰 | 1 借入金 繰 | 2 その他 繰 | | |
| 1 国民健康保険会計 | | 101,465 | | | 418,219 | 455,838 | | | 975,522 | |
| 2 介護保険会計 | | 213,298 | | | | 900,576 | | | 1,113,874 | |
| 3 後期高齢者医療事業会計 | | 23,967 | | | | 246,659 | | | 270,626 | |
| 4 基金 | | | | | | | | 168,653 | 168,653 | |
| 5 財産区 | | | | | | | | 280 | 280 | |
| 合計 | | 338,730 | | | 418,219 | 1,603,073 | | | 2,360,022 | 168,933 |

6 地方債現在高の状況

(単位：千円)

| 区分 | 令和2年度末現在高(A) | 令和3年度発行額(B) | 令和3年度元利償還額 | | 令和3年度元利償還額 | | (D)の財源内訳 | | 差引現在高(A+B-C) | (E)の借入先別内訳 | |
|---------------------------------|--------------|-------------|------------|---------|------------|---------|-----------|----------------|--------------|------------|------------|
| | | | 元金(C) | 利子 | 計(D) | 特定財源 | 一般財源等 | 財政融資資金・旧郵政公社資金 | | その他 | |
| 1 公共事業等債 | 924,163 | 166,300 | 68,005 | 4,707 | 72,712 | | 72,712 | | 1,022,458 | 86,546 | 935,912 |
| 2 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債 | 90,100 | 257,500 | | 296 | 296 | | | 296 | 347,600 | 347,600 | |
| 3 公営住宅建設事業債 | 776,195 | | 124,406 | 7,754 | 132,160 | 88,475 | 43,685 | 88,475 | 651,789 | 342,022 | 309,767 |
| 4 災害復旧事業債 | 300,036 | 20,400 | 39,429 | 75 | 39,504 | | 39,504 | | 281,007 | 281,007 | |
| 5 全国防災事業債 | 190,483 | | 23,469 | 376 | 23,845 | | 23,845 | | 167,014 | | 167,014 |
| 6 教育・福祉施設等整備事業債 | 3,337,051 | 265,500 | 269,506 | 18,483 | 287,989 | | 287,989 | | 3,333,045 | 1,513,375 | 1,819,670 |
| 7 一般単独事業債 | 16,378,518 | 640,400 | 1,430,825 | 136,385 | 1,567,210 | | 1,567,210 | | 15,588,093 | | 15,588,093 |
| 8 公共用地先行取得等事業債 | 117,600 | | 16,800 | 227 | 17,027 | | 17,027 | | 100,800 | | 100,800 |
| 9 財源対策債 | 588,245 | 99,000 | 66,404 | 3,941 | 70,345 | | 70,345 | | 620,841 | 103,006 | 517,835 |
| 10 減収補填債 | 134,400 | | 47,050 | 67 | 47,117 | | 47,117 | | 134,400 | 134,400 | |
| 11 減税補填債 | 155,901 | | | 287 | 287 | | 287 | | 108,851 | 108,851 | |
| 12 臨時財政対策債 | 14,114,357 | 1,482,400 | 1,149,233 | 32,925 | 1,182,158 | | 1,182,158 | | 14,447,524 | 7,656,028 | 6,791,496 |
| 13 県貸付金 | 54,100 | 65,200 | 7,080 | 6 | 7,086 | | 7,086 | | 112,220 | | 112,220 |
| 14 猶予特例債 | 160,000 | | 160,000 | 4 | 160,004 | | 160,004 | | | | |
| 15 病院事業債(一般会計出資債) | 823,364 | | 32,057 | 12,355 | 44,412 | | 44,412 | | 791,307 | | 791,307 |
| 一般会計(小計)① | 38,144,513 | 2,996,700 | 3,434,264 | 217,888 | 3,652,152 | 88,475 | 3,563,677 | 88,475 | 37,706,949 | 10,572,835 | 27,134,114 |
| 下水道事業会計 | 19,801,701 | 1,189,700 | 1,855,333 | 292,276 | 2,147,609 | 633,800 | 1,513,809 | 633,800 | 19,136,088 | 6,575,448 | 12,560,620 |
| 企業会計(小計)② | 19,801,701 | 1,189,700 | 1,855,333 | 292,276 | 2,147,609 | 633,800 | 1,513,809 | 633,800 | 19,136,088 | 6,575,448 | 12,560,620 |
| 合計(①+②)③ | 57,946,214 | 4,186,400 | 5,289,597 | 510,164 | 5,799,761 | 722,275 | 5,077,486 | 722,275 | 56,843,017 | 17,148,283 | 39,694,734 |
| 旧病院事業の清算のため一般会計が水道事業会計から借り入れた額④ | 1,300,000 | | 100,000 | 13,000 | 113,000 | | 113,000 | | 1,200,000 | | 1,200,000 |
| 実質的な地方債現在高(③-④) | 56,646,214 | 4,186,400 | 5,189,597 | 497,164 | 5,686,761 | 722,275 | 4,964,486 | 722,275 | 55,643,017 | 17,148,283 | 38,494,734 |

7 債務負担行為の状況

(単位：千円)

| 区分 | 債務負担行為 限度額 (A) | 令和4年度 以降の支出 額 (B) | 左の財源内訳 | | | | (B)のうち令和3年度までに相手方の行為の履行があったもの等 |
|---------------------|----------------------|----------------------------|--------|-----|-----|-----------|--------------------------------|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源等 | |
| (1) 物件の購入等に係るもの | 264,732 | 124,107 | | | | 124,107 | 46,549 |
| (2) 債務保証又は損失補償に係るもの | 2,000,000 | | | | | | |
| (3) その他 | 4,228,450 | 1,577,823 | 70,000 | | | 1,507,823 | |
| 合計 | 6,493,182 | 1,701,930 | 70,000 | | | 1,631,930 | 46,549 |

| 区分 | 令和3年度 支出額 (C) | 左の財源内訳 | | | |
|---------------------|---------------------|--------|-----|-----|---------|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源等 |
| (1) 物件の購入等に係るもの | 29,284 | | | | 29,284 |
| (2) 債務保証又は損失補償に係るもの | | | | | |
| (3) その他 | 821,238 | | | | 821,238 |
| 合計 | 850,522 | | | | 850,522 |

8 財政指標（普通会計）

(単位：%)

| 区 分 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|
| 経常収支比率 | (97.6) 91.2 | (98.7) 92.0 | (99.8) 94.2 | (100.7) 94.7 | (94.2) 87.6 |

注) () は、減収補填債（特例分）、猶予特例債及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた場合の経常収支比率

9 健全化判断比率及び資金不足比率

法3条関連

(単位：%)

| 区 分 | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 実質公債費比率 | 単年度 | 3.6 | 2.4 | 3.4 | 4.8 | 5.8 |
| | 3か年平均 | 3.8 | 3.3 | 3.1 | 3.5 | 4.6 |
| 実質赤字率 | 単年度 | — | — | — | — | — |
| 連結実質赤字率 | 単年度 | — | — | — | — | — |
| 将来負担比率 | 単年度 | 45.0 | 41.5 | 40.0 | 39.6 | 35.3 |

注) 「—」は、数値が生じていないことを示す。

法22条関連

(単位：%)

| 区 分 | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------|----------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 資金不足比率 | 水道事業会計 | — | — | — | — | — |
| | 下水道事業会計 | — | — | — | — | — |
| | 農業共済事業会計 | — | — | — | — | — |

注) 「—」は、数値が生じていないことを示す。

(参考)健全化判断比率に係る早期健全化基準等 (単位：%)

| | 早期健全化基準 | 財政再生基準 | | 経営健全化基準 |
|----------|---------|--------|--------|---------|
| 実質公債費比率 | 25.0 | 35.0 | 資金不足比率 | 20.0 |
| 実質赤字比率 | 12.51 | 20.00 | | |
| 連結実質赤字比率 | 17.51 | 30.00 | | |
| 将来負担比率 | 350.0 | | | |